

子ども施策にかかると25年後の提言



平成23年8月

こども未来局職員提言チーム

イラスト：西島 美代子

1 子どもたちの思いを受けた、25年後の夢

こども未来局では、「25年後の子どもや子どもを取り巻く環境についての夢」を語るにあたり、保育園児、小学生・中高生・大学生、外国人学生などの子どもと子どもに関わっている大人など、たくさんの方の意見を参考にし、ビジョンを策定しました。

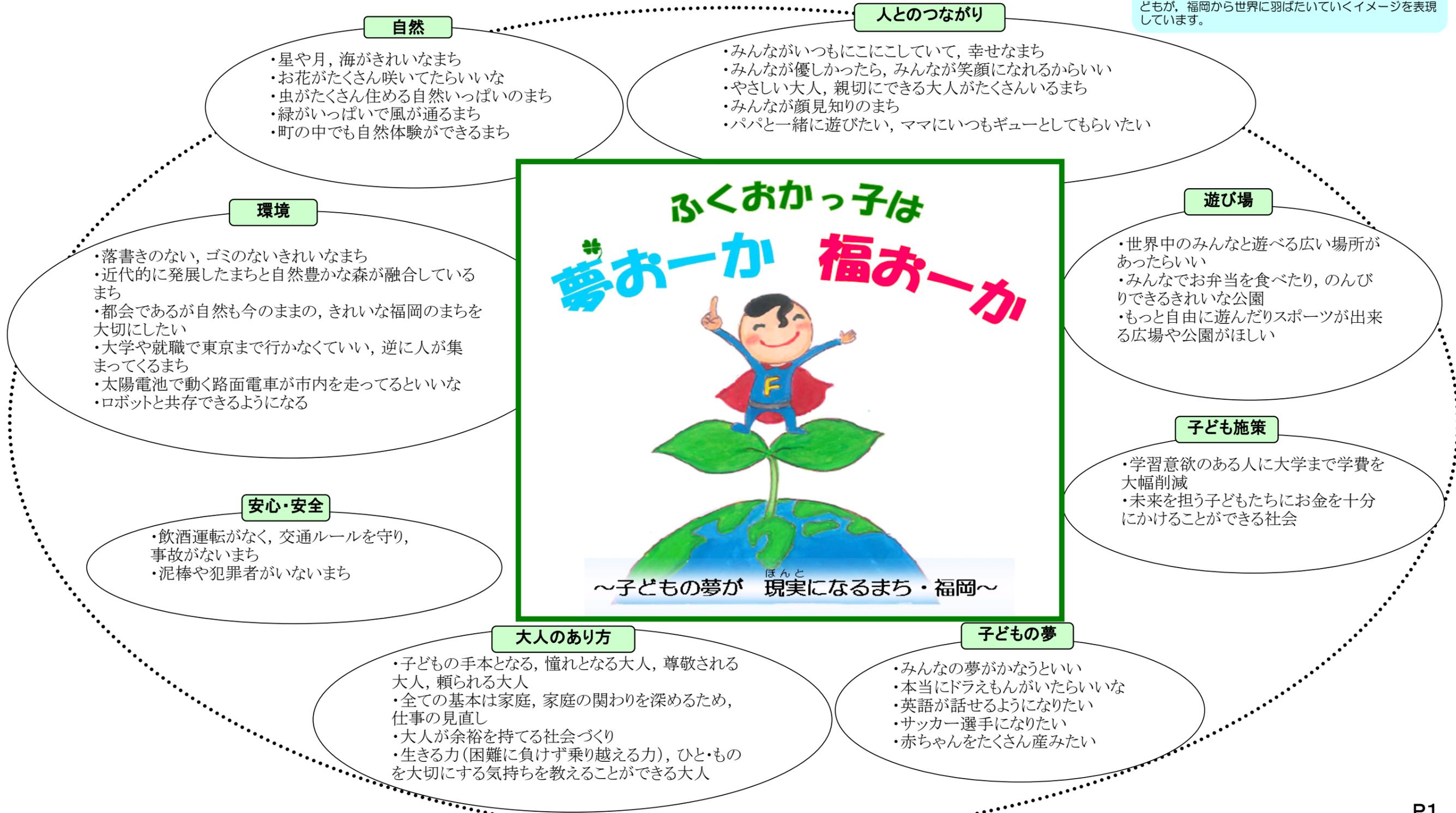
子どもたちは、【自然や遊び場がいっぱいできれいなまち・安全なまち・みんなが笑顔で幸せなまち】を夢見ています。また、子どもに関わる大人からは、【子どもの憧れとなる大人・子どもに尊敬される大人になろう！】という意見がたくさんありました。

みんなの熱い思いを受けて、私たちは「ふくおかっ子は 夢おーか 福おーか ～子どもの夢が現実（ほんと）になるまち・福岡～」を目指します。

福岡の子どもたちが、大きな夢を掲げ、福（幸せ）多く成長しますように。そのためには、福岡市が、子どもの夢を現実にするまちに成長していきます。

福岡から、世界に羽ばたく、オンリーワンの子どもたちを数多く育てたいと思っています。

ふくおかっ子（愛称：ふくちゃん）の顔は、“ふ”の字で、髪と目を描きました。自分らしさや自分の強みを持った“オンリーワン”の子どもが、福岡から世界に羽ばたいていくイメージを表現しています。



自然

- ・星や月、海がきれいなまち
- ・お花がたくさん咲いてたらいいな
- ・虫がたくさん住める自然いっぱい
- ・緑がいっぱいで風が通るまち
- ・町の中でも自然体験ができるまち

人とのつながり

- ・みんながいつもここにこしていて、幸せなまち
- ・みんなが優しくしたら、みんなが笑顔になれるからいい
- ・やさしい大人、親切にできる大人がたくさんいるまち
- ・みんなが顔見知りのまち
- ・パパと一緒に遊びたい、ママにいつもグーとしてもらいたい

遊び場

- ・世界中のみんなと遊べる広い場所があったらいい
- ・みんなでお弁当を食べたり、のんびりできるきれいな公園
- ・もっと自由に遊んだりスポーツが出来る広場や公園がほしい

子ども施策

- ・学習意欲のある人に大学まで学費を大幅削減
- ・未来を担う子どもたちにお金を十分にかけることができる社会

子どもの夢

- ・みんなの夢がかなうといい
- ・本当にドラえもんがいたらいいな
- ・英語が話せるようになりたい
- ・サッカー選手になりたい
- ・赤ちゃんをたくさん産みたい

大人のあり方

- ・子どもの手本となる、憧れとなる大人、尊敬される大人、頼られる大人
- ・全ての基本は家庭、家庭の関わりを深めるため、仕事の見直し
- ・大人が余裕を持てる社会づくり
- ・生きる力(困難に負けず乗り越える力)、ひと・ものを大切にする気持ちを教えることができる大人

環境

- ・落書きのない、ゴミのないきれいなまち
- ・近代的に発展したまちと自然豊かな森が融合しているまち
- ・都会であるが自然も今のままの、きれいな福岡のまちを大切にしたい
- ・大学や就職で東京まで行かなくていい、逆に人が集まってくるまち
- ・太陽電池で動く路面電車が市内を走るといいな
- ・ロボットと共存できるようになる

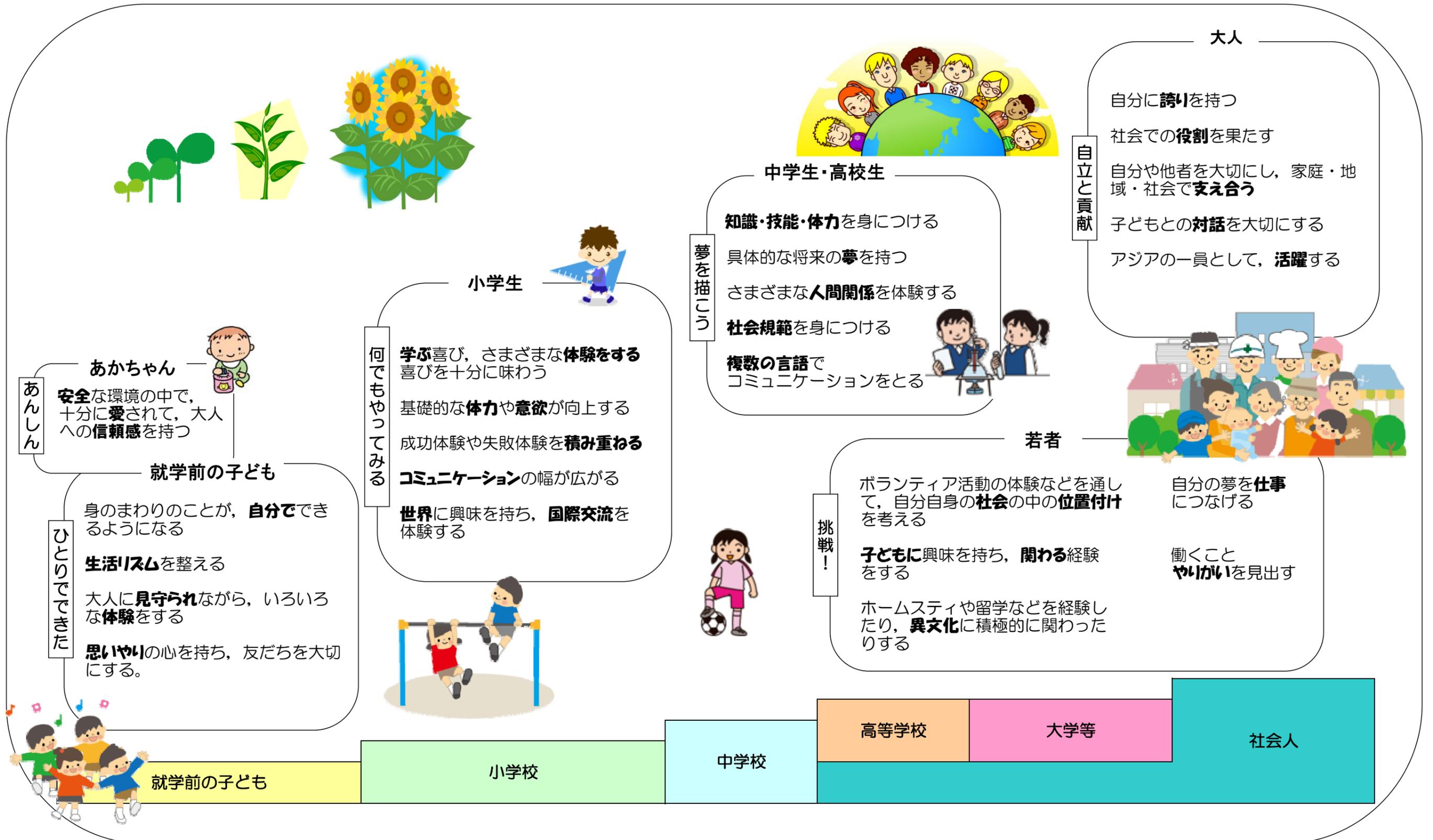
安心・安全

- ・飲酒運転がなく、交通ルールを守り、事故がないまち
- ・泥棒や犯罪者がいないまち

“子どもたち”と“子どもに関わる大人”の思い

※子ども(391人)、子どもに関わる大人(281人)へのインタビューでの意見の抜粋

2 子どもから大人へ、それぞれのステージで目指す姿



3 「福岡の子どもたちの姿」と「福岡の子どもを取り巻く環境」 25年後の夢

チャンスがあふれる福岡のまちで、すべての人たちが子どもたちの成長を支え、のびのび育つふくおかっ子をイメージしました。笑顔のふくちゃん、体は“明太子”です。

ひとがよか
まちがよか
ふくおか

福岡の子どもたちの姿

集
かたらんね

福岡の子どもは みんなウェルカムかたらんねー

熱
あつかとよ

福岡の子どもは 熱か気持ちでオンリーワン

挑
やってみりい

福岡の子どもは なんでんかんでんチャレンジするとよ

のびのびっ子を
育むまち
ふくおか

アジアと一緒に
いっちゃん元気に
なるまち
ふくおか

福岡の子どもを取り巻く環境

4 「福岡の子どもたちの姿」具体的目標

福岡の子どもは、みんなウェルカムかたらんねー

お互いの個性や文化の違いを認め合い、笑顔あふれて思いやりのある福岡っ子を目指します

集
かたらんね

○人が好きな笑顔あふれる子ども

- ・中学生全員保育所体験

○コミュニケーションが得意な子ども

- ・信頼関係づくりのあそび塾:ゲームを通じて楽しく対人関係づくり
- ・たかしまルシェ・子どもと語る:子どもが市長と直接市政を語る

○文化や個性の違いを認め合い、思いやりのある子ども

- ・福岡在住の外国人等と言葉や文化を学び合い、生活習慣を体験し合う

○大人から愛されている子ども

- ・「い〜な」ふくおか♡子ども週間を全市民で取り組もう！

福岡の子どもは、熱か気持ちでオンリーワン

アジアの街福岡に誇りを持ち、国際社会を力強く生き抜く福岡っ子を目指します

○福岡の街を愛する子ども

- ・「博多っ子スクール」福岡の文化体験
各学校で地域の祭りに参加“山笠・どんたく”
福岡伝承の玩具作り体験“博多はじき・ちゃんぽん・博多ごま”
福岡の食文化を知り、食作り体験“おきゅうと・明太子”
福岡の食を世界の食へ！（子どもたちが新メニューを考案）

熱
あつかとよ

○世界に興味を持ち、おもてなしカアジアナンバー1の子ども

- ・市内で開催される国際会議の見学
- ・APCC（アジア太平洋子ども会議）参加者のOB会
“APCC卒業生が子どもたちへ夢を語る”
- ・海外からの観光客を、福岡の“中高生子どもガイドボランティア”が3か国語（英語、中国語、韓国語）で案内
- ・「海外の友だちを10人作るプロジェクト」
インターネットを通じた国際交流

○国際競争力のある子ども

- ・外資系企業での職場体験
- ・アジア各国との交換留学生（高校・大学）の増加促進
福岡の学生が、留学先の海外で、福岡発インターネット授業を受講し単位を取得

福岡の子どもは、なんでんかんでんチャレンジするとよ

失敗を恐れず、やってみたいことに何度でも挑戦する、たくましくいきいきした福岡っ子を目指します

○ルールを守り、自分のことは自分でやろうとする自立した子ども

- ・子どもによる子どものためのイベントの企画、実施
- ・福岡市子ども市議会（子ども市議会で決めた施策を実施）

○豊かな自然と共存し、たくましく生きる力を培った子ども

- ・自然体験、農漁業体験、水族館・動物園の飼育員体験
体験施設を巡るスタンプラリーを開催し、すべての体験をした子どもを“福岡自然マイスター”に認定
- ・セスナ、パラグライダーに乗って、空から福岡のまちを散策体験
- ・「小中学生チャレンジ！無人島5日間アドベンチャー体験」若者が子どもたちのリーダーとなり企画・運営、指導

○好きなことを思いっきりがんばる、個性や能力を伸ばす子ども

- ・「福岡ドリームマッチ」中体連の市大会優勝チームがドームやレベルファイブでホークスやアビスパと試合
- ・「福岡ドリームインターン」各界一流のプロから技術、技能を学ぶ
アニメーター、デザイナー、画家、音楽家、ロボット開発、ゲームクリエイター等
- ・「D.O!スポーツ福岡チャレンジ」世界レベルのスポーツ選手との交流会
オリンピックや世界選手権等で活躍する福岡ゆかりの選手との直接対話やスポーツ体験

挑
やってみりい



5 「福岡の子どもたちを取り巻く環境」具体的目標

ひとがよか、まちがよか、ふくおか

福岡市は、一人ひとりが地域を愛して、地域の子どもの育てるまちを目指します

○自分や他者を大切に、家庭、地域、社会で支えあうまち

- ・公民館を拠点として、コミュニティが地域の子どもの育む
- ・地域での子どもたちの居場所と高齢者の活動の場の整備
公民館、老人いこいの家、空き教室、空き店舗等を活用して、**「駄菓子屋」「文具店」**を整備し、高齢者が中心となって運営、子どもたちの居場所に
- ・地域の文化、歴史を知り、自分たちのまちを好きになる

○安全で安心して子育てできるまち

- ・セキュリティ整備された空き地（遊び場所）の推進
- ・地域でのあいさつ（声かけ）は、自分から！
- ・ゴミがないまち、ゴミ拾いをしやすい環境
“ゴミを捨てにくい、安全安心できれいなまちに”
- ・妊娠時期から未就園までの子どもと子育て家庭を**“マイお助け園”**がサポート

○女性が子どもを産んでも仕事を続けられ、 “女性の働きやすさ(就業率)アジアナンバー1”のまち

- ・多様な保育サービス
夜間・休日保育、事業所内保育
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
長時間労働がなく、早く帰宅できる社会
- ・在宅ワークの推進
インターネットによる社内会議等

のびのびっ子を育むまち、ふくおか

福岡らしさを大切にして、創造・発展するまちを目指します

○文化・芸術・スポーツが身近にあって、“本物”に触れあえるまち

- ・**少年科学文化会館を、自然エネルギー・フィットネス発電で運営するエコ館へ**
“世界中の子どもたちが集まり、自然エネルギーについて考えよう！”
- ・子どものためのオープンキャンパス
子どもたちがキャンパスを訪問し、大学の最先端の研究、知識に触れる
- ・少年少女シティマラソン、トライアスロンの開催
- ・アジアの子どもたちとのスポーツ交流大会**「福岡夢おーか杯」**の開催
- ・福岡スポーツ生観戦ツアー主催
アビスパ、ホークス、ライジング、大相撲、柔道、ラグビーなど

○豊かな自然と共存できるまち

- ・統廃合による学校跡地を活用して、都心部に**“冒険の森”**（雑木林、ビオトープなど）を設置
- ・**“潮風を感じるウォーキング&サイクリングロード”**の整備
“自転車で釣りや海水浴に行こう！”

○チャンスがあふれるまち

- ・すべての子どもに公平な**ライフチャンス**を
- ・若者の働き場所の拡充
企業誘致、起業しやすい環境づくり
- ・世界に羽ばたく人材の育成
宇宙飛行士、ロボット研究者など
- ・**音楽大学(音楽、芸能、演劇など)**の設立

アジアと一緒に、いっちゃん元気になるまち、ふくおか

福岡市は、アジア各国と一緒に成長して、リーダーシップをとれるまちを目指します

○アジアの成長を感じて、新しい価値を発信できる子どもが育つまち

- ・外国のことを学ぶ教育
他の国のことを知るとともに、福岡のことをもっと知る
- ・英語教育の充実
- ・**“第2アジア語”**を学ぶ
- ・アジア太平洋**“おもてなし”**宣言
アジア太平洋からの福岡を拠点とした九州観光ツアー

○異文化との出会いをエネルギーに変えるまち

- ・学校跡地、海の中道青少年海の家を活用した**「地球っ子スクール」(英語村、中国語村、韓国語村)**の創設
留学生から子どもたちが外国語や文化を学ぶ
- ・**「アジア館」**(アジアをテーマにした交流・発信の場として、アジア美術館に併設)を拠点に、周辺の観光施設(キャナルシティ、上川端商店街、町屋ふるさと館、櫛田神社など)との回遊性を高めて、まち全体をアジア交流タウンにする
- ・アジア各国の担当コミュニティを決めて、海外からの来訪者をおもてなし
- ・**「海外チャレンジ応援事業」**
海外で技能(料理、美容、ファッション、音楽、ダンスなど)を習得し、福岡に広げていこうとする若者を支援

6 夢に向かって、私たちが今すべきこと

25年後の夢をどのように語っていくか…

私たちは、25年後の自分たちの姿ではなく、25年後の子どもたちの姿を思い描いていくこととし、たくさんの子どもの意見を聞きました。メンバーの1人は、“もうすぐ生まれてくる自分の子どものことを思い浮かべながら”夢を描いていました。

福岡の将来を考えていく中で、メンバー全員の“福岡愛”を感じました。そして、ワーキングを重ねるごとに、福岡のことがますます好きになっていきました。15人のメンバー全員が、現状と課題を共有した上で、アイデアを出し合い、熱く、楽しく議論をし、素敵な夢を描けたと思っています。

夢に向かって、私たちが今すべきことは何か…

私たち大人がもっと元気になって、自己実現し、子どものお手本や子どもから憧れられる存在になりたいと思います。当たり前のことですが、自覚を持って行動し、子どもの夢をこわさないようにしていきたいと思っています。

また、大人も子どもも、みんながそれぞれの多様性を認め、尊重しあえる社会にしていきたいと思っています。大人も子どもも笑顔があふれ、他人に思いやりを持つ、そのためには、ワーク・ライフ・バランスをさらに推進し、みんなが心にゆとりを持てるまちにしていきたいと思っています。

地域では、子どもや子育て家庭へみんなが声をかけるなど、子どもを見守り、子育て中の親子を精神的に支えていくとともに、地域の中で、子どもや大人、それぞれが責任と役割を持ち、地域コミュニティの活性化を進めていきたいと思っています。地域の中での国際交流の推進や、子どもがもっと自主的に運営できるしくみづくりなどができれば良いと思います。

まずは、市役所職員が率先して、“人を好きになる、子どもを好きになる、コミュニケーションが得意になる”ことを提言します。まずは市役所職員からあいさつをしよう、市役所職員が率先して、第2アジア語を学んでいきたいと思っています。

最後に、こども未来局職員として、子どもを生み育てやすい環境づくりを進めるとともに、子どもの体験の場や活動の場の充実を図るなど、未来の福岡を担う子どもたちへの投資を福岡市の重点施策と位置づけ、福岡らしい、オンリーワンの子どもたちを育てていきたいと思っています。

みんなで描いた夢の実現に向かって、一歩ずつ進んでいきます。

そして…

25年後、メンバーの同窓会で、私たちが描いた夢がかなっているか、確かめたいと思っています。

7 こども未来局職員提言チームでの検討経緯

【検討経緯】

- 6月 7日 こども未来局職員提言チーム設置
第1回WG「局長講話、子どもを取り巻く環境の現状と課題の共有」
- 6月16日 第2回WG「25年後の福岡市の予測、夢を語ろう！第1弾」
- 6月21日 第3回WG「子どもの意見の反映、夢を語ろう！第2弾」
- 7月 5日 アドバイザーへの報告
- 7月12日 第4回WG「福岡らしさを生かしたテーマの設定」
- 7月19日 第5回WG「年齢ごとの子どもたちの姿、テーマごとの目標」
- 7月26日 第6回WG「テーマごとビジョン案協議」
- 8月 2日 第7回WG「ビジョン案作成、シンボルマーク・キャッチフレーズ決定」
- 8月 9日 アドバイザーへの報告
- 8月18日 第8回WG「ビジョン最終案決定」
- 8月23日 こども未来局職員への報告会



2036年8月23日
「こども未来局職員提言チーム同窓会」開催！



【子ども・子どもに関わる大人へのインタビューの実施】

子ども 391人

- こども未来局職員の子ども(就学前から大学生くらいまで95名)
各家庭で親からのインタビュー(85名)
8/5子ども参観日でのインタビュー(10名)
- 若者の居場所利用の子ども(中・高校生15名)
7/24インタビュー
- 公立保育所12ヶ所(年長児146名)
各保育所で保育士からインタビュー
- 留守家庭子ども会(小学校1～4年生120名)
筥松・大名・舞鶴小学校留守家庭子ども会でのインタビュー
- 外国人学生(15人)
7/7日本語おしゃべりサロンでのインタビュー

子どもに関わる大人 281人

- 留守家庭子ども会指導員(281名)
7/3指導者研修会でグループワーク
「25年後の子どもたちのために、これからできること」

【こども未来局職員提言チームメンバー】

| | 所属 | 氏名 |
|----------------|---------------|---------|
| 職員ワーキング チーム | 総務企画課 | 安武 秀起 |
| | こども育成課 | 水町 卓典 |
| | こども育成課 | 米倉 照貴 |
| | 体験・交流推進課 | 坂本 裕輔 |
| | こども家庭課 | 古藤 久英 |
| | こども発達支援課 | 山本 菜美子 |
| | 子育て支援課 | 牟田 智佳 |
| | 子育て支援課 | 富松 伸介 |
| | 監査指導課 | 松尾 佳子 |
| | 保育課 | 吉田 誠一 |
| | 保育所指導課 | 宮崎 恵利子 |
| | 千代保育所 | 西島 美代子 |
| | こども支援課 | 松田 幸 |
| | こども相談課 | 香山 大介 |
| こども緊急支援課 | 角南 隆哉 | |
| アドバイザー | こども未来局長 | 吉村 展子 |
| | こども部長 | 永田 淳一 |
| | 子育て支援部長 | 武藤 一之 |
| | こども総合相談センター所長 | 藤林 武史 |
| | 総務企画課長 | 横内 正明 |
| | 子育て支援課長 | 山本 和弘 |
| | こども支援課長 | 宮崎 晶子 |
| 事務局 | 総務企画課企画調整係長 | 中牟田 はと子 |

【WGメンバーからのコメント】

- みなさん大変忙しい中、真剣に、また楽しく議論・作業に参加していただきました。みなさんの「やる気」に、感謝・感謝です。また、普段の仕事上ではなかなか接点がない方々と顔見知りになれたことも、大きな収穫でした。
- チームのみなでこどもの目線に立って話し合い、型にはまらない夢のある提言ができて楽しかったです。
- 生まれ育ったまちである「福岡」の25年後を考える局提言ワークショップのメンバーに携わることで、色々な方々の思いにふれることができ、このような機会を与えていただいたことに感謝しています。沢山の人の思いが詰まった、ステキな“新ビジョン”が出来上がるのを楽しみにしています。
- 25年後の福岡について、未来のことを色々想像しながら議論ができて、とても楽しかったです。
- もうすぐ生まれてくる自分の子どものことを思い浮かべながら、楽しく皆さんと議論に参加しました！
- 自分たちの25年後を描くより、子ども達の25年後を描く方が、夢のある明るい将来を目指せそうで、議論するのも聞くのも楽しく、こども未来局にいて良かったなあと思いました。「さあ、あなたも(市役所)こども未来局にかたらんね！」
- 福岡市の25年後の将来について、色々な角度やモノの見方で考えることができ新鮮でした。今の自分の目の前にある業務に対してもモチベーションが上がりました！！
- 福岡のことがますます好きになりました！
- 25年後の夢を描く貴重な体験を、皆で、一生懸命取り組めて良かったです。これから、皆で描いた夢の実現に向かって、一歩ずつ、進んでいきます。
- ワーキングを通じて、メンバーの“福岡愛”を感じました！
- 今回、新ビジョンの提言チームに入らせていただくことになり、いろいろな部の方とディスカッションし手作りの提言を作りました。出来る限り多くの人の意見を反映したくて、自分の回りの大人や子どもたちに「25年後の福岡を考えよう」の意見を広くもらいました。いろんな夢や意見があって考えさせられることも多く勉強になりました。
- いつも目の前の困っている家族への対応に追われているので、将来的にこうなったらいいな、という大きな視野で前向きに考えられて良かったです。
- ワーキングが始まる前は、グループで25年後の子どもたちの姿を考える作業が、こんなに楽しいことだとは思っていませんでした。とても貴重な体験ができ、参加させていただいたことに感謝しております。
- 25年という四半世紀後の未来を見通すことの難しさ、そして、それをみんなで話し合いながらまとめていくことの難しさを感じました。と同時に、いろんな考えや子どもたちの未来に対する思いを聞くことができ、また、こちらからも伝えることができ、とても有意義で楽しかったです。
- ファシリテーター研修にも参加し、なんとかファシリテーター役を努めさせていただきました。いろんな意見をひとつにまとめていくのは思った以上に大変でしたが、15人のメンバーに15種類の考え方があったからこそ、熱く、楽しく議論し、素敵な夢を描けたと思います。メンバーのみなさんに感謝しています。